

# 中根小の自然

第20号 2008年11月12日

牛久自然観察の森へ行ってきました。～その4. 昆虫(ハチ・アリの仲間)

## 1. ホソアシナガバチ



[理科支援員 宮内]

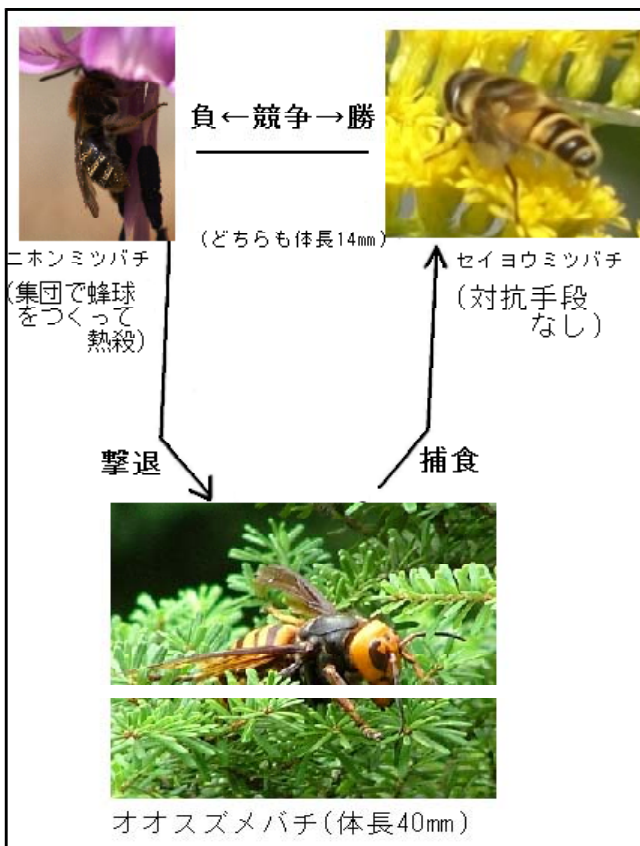
体が細長く全体が黄色っぽいのが特徴。葉の裏によく巣を作るので、うっかり刺激して刺されないように注意が必要です。

## 2. セイヨウミツバチ



セイヨウミツバチについては第1号で紹介していますが、今日はもう1つ面白い話を…。

ニホンミツバチとセイヨウミツバチはよく似ていて、どちらも花蜜や花粉を食べて生きています。セイヨウミツバチの方が活動的で蜜もたくさん採るので、争いが起こるとニホンミツバチは負けてしまいます。こわいハチとして有名なオオスズメバチは雑食ですが主に他の昆虫などの肉を食べ、ミツバチも襲います。セイヨウミツバチは一匹ずつかかっていって全滅してしまいますが、ニホンミツバチは一斉に向かかっていって蜂球をつくり、スズメバチを熱殺し撃退してしまいます。つまりこれら3種のハチは、お互いにジャンケンのような関係で共存することができるのです。



## 3. トラマルハナバチ



一見こわそうだけどおとなしい。なぜここにアリがいるかって？

## 4. クロヤマアリ



花蜜を集める習性もある。

## 5. ホソヒラタアブ



ハチに似るがハエ・アブの仲間

実はアリはハチに近い仲間(ハエ・アブよりもずっと近い)なのです